

政策効果が高いサービス実現に向けたご支援

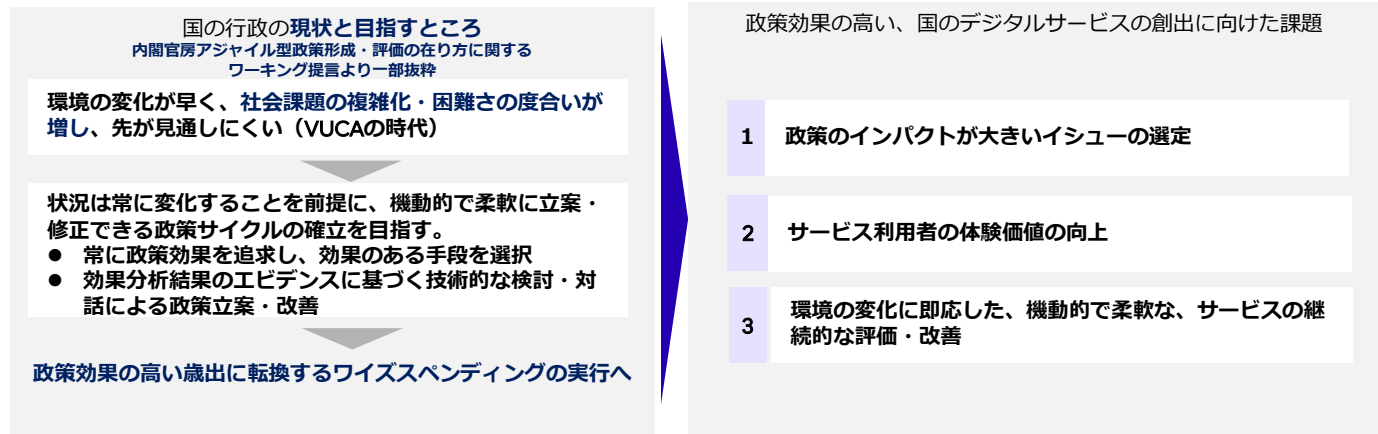
1. エビデンスに基づく政策立案の動向

予測が困難かつ変化が速い経済・社会の状況において、効果が高い政策形成が求められており、その効果を国民誰もが享受し、その有効性を実感できるようにする必要があります。具体的には質の高い経済・社会を実現すべく、政策効果が乏しい歳出を徹底して削減し、政策効果の高い歳出に転換するワイズスペンディングの実行が求められます。



2. 政策効果の高いサービスの創出に向けた課題

利用者の真の要望に沿ったサービス形成に向け、現状の行政サービス動向を分析し、高い政策効果につながる課題の抽出とその解決策であるサービスの構想が必要です。本コンサルティングでは、デジタルサービスの実現に向けた課題や方向性を明確化することで、政策効果の高いデジタルサービス形成の基盤を築きます。



3. DX調査研究コンサルティングの特徴

弊社は、官公庁における調査研究コンサルティングの豊富な実績を活かし、政策効果につながるサービスの実現に向けてご支援します。

1	実現性・実効性が高い 이슈の抽出	実現性・有効性に基づきインパクトが大きい 이슈を選定します。 実現性：優先度、難易度、コスト面 有効性：インパクト（影響する利用者範囲）、重要度、即効性
2	サービスデザイン手法活用による利用者起点での課題抽出	官公庁におけるサービスデザインの実績を活かし、利用者視点でのサービスの将来像構想に向けた課題を抽出、可視化します。
3	業務改革、BPRの豊富な実績を活かした方向性の提言	弊社が培ってきた多くの業務改革、BPRに関するコンサルティングの実績を活かして、本質的な課題を抽出、解決の方向性を提言します。

4. DX調査研究コンサルティングの進め方

弊社では、利用者にとってインパクトが大きな 이슈をマクロ環境分析で絞り込み、取り組む優先度が高い課題・解決策に関するサービスを構想します。サービスデザインの視点を取り入れることで、構想を実現するために必要なデジタルサービスに関する業務適用性や、将来的に求められる機能・性能に関する方向性を検討します。

STEP1
マクロ環境分析

STEP2
ステークホルダー分析

STEP3
利用者調査・分析

STEP4
現行業務調査・分析

STEP5
課題と解決の方向性
検討

- PEST分析により、取り巻く環境要因毎の動向、トレンド及びインパクトを調査します。
- 社会経済やデジタル技術のトレンドを見据えた上で、国民や政府にとってインパクトが大きい 이슈を分析します。

- 対象分野/テーマのステークホルダーを把握、各ステークホルダーの 이슈や目指す価値（インパクト）をステークホルダーマップにまとめます。

- サービスデザイン手法を活用し、利用者の現状を把握、課題を抽出します。
- サービスに関する利用者の一連の行動をユーザージャーニーマップに可視化することで、的確に課題を抽出、関係者の共通認識を図ります。

- 現行業務を調査し、現状を把握、課題を抽出します。
- 既存ドキュメント調査、アンケート調査、ヒアリング調査等により、実施します。
- 必要に応じて、現地調査を行います。

- 課題を整理し、体系化します。
- 限られたリソースの中で優先度をつけて取り組むため、重要度、緊急度、難易度等の観点で課題の優先度を評価します。
- 課題の解決の方向性を検討し、提言します。

アウトプット例：イシュー分析結果

アウトプット例：ステークホルダーマップ

アウトプット例：ユーザージャーニーマップ

アウトプット例：業務概観図

アウトプット例：課題体系図

お問い合わせ先

富士通株式会社
パブリック事業本部 パブリックコンサルティング事業部
担 当：長谷川 (hasegawa.mak-05@fujitsu.com)、松藤 (m.yoshiyuki@fujitsu.com)

〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1-5 JR川崎タワー

FUJITSU-PUBLIC

2 of 2

© 2025 Fujitsu Limited